

Service News [サービス・ニュース]

ブックシャワーが設置されました

設置場所: 2階図書総合カウンター前
 図書館の本や雑誌を殺菌消毒できる機械です。ご自由にお使いください。
 使い方は簡単! 本を立てて、スタートボタンを押すだけです。
 ※千代田区立図書館の本や雑誌以外には使用しないでください。
 ※貴重書など一部ご使用できない場合があります。

「アジアの子どもの読書環境と「絵本を届ける運動」ワークショップ」
 開催日: 8月19日(土)
 講師: 鈴木晶子(公益社団法人ジャンティ 国際ボランティア会広報課課長)
 世界の共通課題であるSDGsにおける教育や図書館に関する目標を確認した後、アジアの教育の実際や子どもたちの読書環境について、分かりやすく講師から説明がありました。その後、アジアに贈る絵本に現地語への翻訳シールを貼り、前半の講義をより身近に感じることができました。講師の「人はなぜ学ぶのか、を現地の人々から学ぶことが多い」という言葉が印象的でした。

「有楽町のラジオ屋」上柳昌彦の今までとこれから
 開催日: 8月26日(土)
 講師: 上柳昌彦(ラジオパーソナリティ)
 千代田区有楽町のラジオ局で活躍してきた上柳氏に「目撃したい」という熱心な多くのファンで会場は満員。ラジオの歴史から話題のラジオCMのこと、生放送での思い出深い出来事、ラジオが縁で出会ったというゲストの登場からラジオと災害の話まで、盛りだくさんの内容でした。プロのアナウンサーの話し術と豊富な話題に引き込まれた、あっと言う間の1時間半でした。

From Chiyoda Public Library [千代田区立図書館からのお知らせ]

おはなし会
 千代田区立図書館では、絵本の読み聞かせや手あそび、わらべうたなどをみんなで楽しむ「おはなし会」を開催しています。申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。

- 千代田図書館 「赤ちゃん向けおはなし会」
 - ▶ 毎月第2木曜日 午前11時～約30分
 - ▶ 場所: 千代田図書館10階=子ども室
 - ▶ 対象年齢: 0才～3才くらいの乳幼児とその保護者
 - ▶ 問い合わせ先: 千代田図書館 03-5211-4289・4290
- 四番町図書館 「にちようびおはなし会」
 - ▶ 毎月第4日曜日 午後3時～午後4時
 - ▶ 場所: 四番町図書館=ラウンジ
 - ▶ 対象年齢: 乳幼児～小学生とその保護者
 - ▶ 問い合わせ先: 四番町図書館 03-3239-6357
- 神田まちかど図書館 「おはなし会」
 - ▶ 不定期(開催日はホームページのカレンダーでご確認ください)
 - ▶ 場所: 神田まちかど図書館
 - ▶ 対象年齢: 乳幼児～小学生とその保護者
 - ▶ 問い合わせ先: 神田まちかど図書館 03-3256-6061

ZONE PICK UP! 3F ブルーゾーン [アート・言語・文学]の本を集めたゾーン ~12月15日(金)

デザイン考

日々目にするポスター、商品パッケージ、本の装丁などには、様々な試行錯誤や表現方法でグラフィックデザインが施されています。この展示では、「デザイナー」「サイン」「ポスター・チラシ」「広告」などトピックを立てて、デザインについて考える入口になるような魅力のある本を取り揃えました。是非手に取って、実際にご覧ください。



10月の展示情報 Exhibit Information *展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「東京を描く」(~2018/1/12) NEW!
 東京は、江戸以来の伝統的な文化の継承だけでなく、新しい文学の発信地としての役割も果たしてきました。今回は、東京出身の作家の作品や、東京を舞台とした作品を中心に、時代と共に変化する文学シーンの変遷をたどります。
 共同企画特別展「松江城と江戸城」関連展示(三角台、~11/19) NEW!

2F ホール 日比谷カレッジ 開館6周年記念講演会関連展示(~11/19) NEW!
 「折り」の科学と美学 -折り紙からORIGAMIへ-
 「維新と「文明」を考えなおす」
 「千代田区生きものさがし 2017」関連展示(~10/31)

3F ホール 日比谷カレッジ NEW!
 「「折り」の科学と美学 -折り紙からORIGAMIへ-」
 関連展示(ガラスケース、~11/19)

3F グリーンゾーン 「見知らぬJAPAN ~地域の魅力再発見~」(~10/13)
 今注目されている地域創生や地方移住。地域の活性化や魅力を紹介しているフリーペーパーを、その地域について書かれた本とともに展示します。日比谷から日本各地の情報を発信していきます。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

● 共同企画特別展 《新発見「江戸始図」関連展示》

松江城と江戸城 入場無料

~国宝になった城と天下人の城~
 慶長8年(1603)に征夷大将軍となった徳川家康は、諸大名を動員して天下人にふさわしい江戸城を築き上げます。諸国においても新たな領主となった大名たちによって、その拠点となる城や城下町づくりが盛んに行われました。この展示では、近世城郭最盛期を代表する現存天守として国宝に指定された松江城に迫ります。また、新発見の「江戸始図」をもとに家康が目指した江戸城を紐解くとともに、平和の世が到来し政治の場として推移する江戸城に迫ります。

● 会期: 平成29年 9月19日(火)~11月19日(日) ※休館日10月16日(月)

特別公開 最古級の江戸城図「江戸始図」 9月19日(火)~10月2日(月)、11月3日(金・祝)~11月19日(日)

- 展示構成
- I. 近世の城と城下町 -徳川家康の目指した国づくり
 - II. 国宝になった城・松江城
 - III. 新発見「江戸始図」-松江に残る諸国の城図
 - IV. 天下人の城と城下 -謎解き「江戸始図」
 - V. 平和の城・江戸城
 - エピローグ. 江戸における松江藩の足跡

【講座】 松江城天守(上)、江戸城富士見櫓(下)

- 1 江戸時代初期の江戸城と大名屋敷 日時:10月10日(火) 19:00~20:30 講師:後藤 宏樹(千代田区教育委員会)
- 2 江戸城本丸御殿の建築 日時:10月23日(月) 19:00~20:30 講師:小粥 祐子(東京都公文書館)
- 3 松江城天守と雛形 日時:11月5日(日) 14:00~16:00 講師:山田 由香里(長崎総合科学大学教授)
- 4 家康の江戸城 -「江戸始図」の歴史的意義- 日時:11月12日(日) 14:00~16:00 講師:千田 嘉博(奈良大学教授)
- 5 日比谷カレッジ 江戸の武家地景観 -「江戸図屏風」をよむ- 日時:11月17日(金) 19:00~20:30 講師:波多野 純(日本工業大学名誉教授)



- 開室時間: 平日10:00~20:00、土曜10:00~19:00、日祝10:00~17:00
- 会場: 日比谷図書文化館 1階特別展示室
- 主催: 松江城歴史的価値発信事業実行委員会(松江市・島根県)・千代田区
- 後援: 一般社団法人 千代田区観光協会

- 【文化財めぐり】
- 6 江戸城登城ウォーク1 日時:11月3日(金・祝) 13:30~16:00 講師:後藤 宏樹(千代田区教育委員会)
 - 7 江戸城登城ウォーク2 日時:11月4日(土) 13:30~16:00 講師:相場 峻(千代田区教育委員会)
- 定員:各30名 ● 資料代:各800円(特製グッズ付き)
 ※⑥・⑦重複しての応募はできません。
- 【申込方法】 往復はがきに①講座名②氏名・年齢③住所④電話番号を記載し、申込み先へ郵送してください。(1講座につき1枚、千代田区民優先、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます) ■申込締切(いずれも当日消印有効) ①・②:9月30日(土) ③~⑦:10月15日(日) ■申込先・問い合わせ先100-0012 千代田区日比谷公園1-4千代田区立日比谷図書文化館 文化財事務室 特別展申込み担当 TEL:03-3502-3348 FAX:03-3502-3361 メール:bunkashinkou@city.chiyoda.lg.jp ホームページ:http://hibiyal.jp/bunkazai/index.html

calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■土曜10時~19時 ■日祝10時~17時 ■休館日

2017年10月							2017年11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30		
29	30	31											

access

〔都営地下鉄〕
 ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
 ●東京メトロ
 ●丸の内線
 ●日比谷線
 「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
 ●千代田線
 「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
 JR「新橋駅」徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

10・11月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

10/17 (火) HIBIYAイノベーション・キャンパス2017【ワークショップ初級編】
イノベティブに問題を捉えるアプローチ
 講師：鳥谷 真佐子(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任講師、博士(医学))
 広瀬 毅(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任助教)


問題をシステムとして捉え可視化・構造化する「システム思考」。多様性を活かし、人間中心で物事を設計する「デザイン思考」。この2つの思考を組み合わせ、アイデアを思い付くだけでなく、考え付くためのイノベティブ思考の基礎的なワークとしてイノベティブな問題の捉え方を中心に学びます。(協力:慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)



■日時:10月17日(火)19:00~21:00(18:30開場) ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:40名 ■参加費:2000円

10/19 (木) **科学ニュースの読み方**
フェイクニュースとPR報道にだまされないための基礎知識
 講師：瀬川 至朗(早稲田大学政治経済学術院教授)


トランプ米大統領の登場でフェイクニュースの問題が注目されています。しかし、医療・健康情報の世界では、以前から、奇跡の効能を謳う偽情報がはびこってきました。専門性が高い科学ニュースに市民はだまされやすいと言えます。問題事例などからフェイクニュースやPR報道・発表報道の仕組みを学び、だまされない対策を考えます。



■日時:10月19日(木)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円

10/27 (金) **英語絵本の読み聞かせに学ぶ「伝わる英語」**
 講師：横溝 美由紀(株)英語ソムリエアカデミー代表講師)


英語圏の人の心を掴む表現に必要なのは、難しい単語や熟語、複雑な文法でしょうか?シンプルな英語表現が国際ビジネスの場でも重視される今、必要なこと、大事なことを伝えるための易しい英語について、日英バイリンガル児童の発達を見つめてきた講師が英語絵本の読み聞かせ事例から伝授します。



■日時:10月27日(金)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:1000円

10/31 (火) **もうひとつの東京オリンピック**
~1940年の「幻の五輪」~
 講師：坂上 康博(一橋大学大学院社会学研究科教授)

ご存知でしたか?東京オリンピックの招致は2020年で3度目だということを。1度目は1940年。しかし日本は開催権を返上してしまいます。このもうひとつの東京オリンピックについて、招致の成功から開催に向けての準備の様子、そしてなぜ幻となってしまったのか…。その経緯を当時の映像やさまざまな史料を使いながらお話ししたいと思います。



■日時:10月31日(火)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:1000円

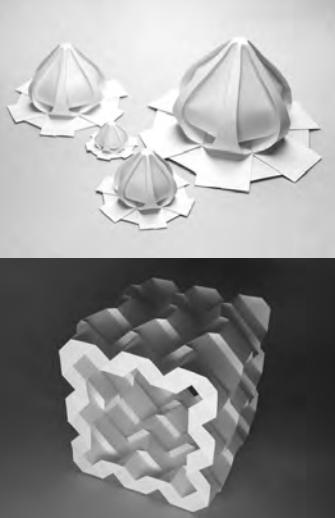
東京オリンピックを告知する当時の広報物

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

日比谷図書文化館 開館6周年記念講演会

11/1 (水) **「折り」の科学と美学**
—折り紙からORIGAMIへ—
 講師：三谷 純(筑波大学大学院システム情報系情報工学科 教授)

近年、工学的に有用とされ、宇宙開発、建築、医療、ファッションなど幅広い分野で注目されている「折り紙」。本講演では、近年に至るまでの歴史を俯瞰し、文化や数学、アートなど異なる視点から折り紙を捉え、研究の紹介を交えて、さらなる折り紙の可能性についてお話しいただきます。



■日時:11月1日(水)19:00~20:45(18:30開場)
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員:200名
 ■参加費:1000円(千代田区民500円)

11/9 (木) **維新と「文明」を考えなおす**
 講師：苅部 直(東京大学法学部教授)

明治維新とは、文明開化とは何だったのか。「尊王攘夷」、「和魂洋才」という通俗的な歴史像を離れ、その時代の言説を読み直せば、1868年の政治変動だけでは尽きない、大きな思想史の流れが見えてくる。その奥には、徳川時代には始まっていた考え方の変化があった。その実相と意義について、世界大の視野と、現代の関心に即した新たな歴史像を提示したい。



■日時:11月9日(木)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員:200名
 ■参加費:1000円(千代田区民500円)

撮影:新潮社

11/8 (水) **「スポーツ実況の世界」**
放送席の取捨選択と気配り
 講師：山本 浩(法政大学スポーツ健康学部教授)

日本最初のスポーツ実況が、甲子園球場で始められてからちょうど90年。ラジオからテレビへ、そしてタブレットへとスポーツ放送を取り巻く環境は変わりました。それでも情報を大量に集めて、必要なものだけを取り出していくアナウンサーの仕事は変わりません。先端機器の中で奮闘する職人気質を紹介します。



■日時:11月8日(水)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員:200名 ■参加費:1000円

11/10 (金) **二人の雑誌創刊男が語る、**
創刊の醍醐味と出版界の今
 講師：渡邊 直樹(大正大学客員教授、月刊「地域人」編集長)
 くらた まなぶ(大正大学客員教授、(株)あそぶとまなぶ代表)

7つの会社で8つの雑誌の編集長を務めた渡邊直樹氏と、リクルートで14の雑誌を創刊し、編集長を務めたくらたまなぶ氏。二人の「創刊男」が語る、創刊の醍醐味とそれぞれのスタイル。雑誌苦難の時代に「伝説の編集長」二人の考えに迫ります。



■日時:11月10日(金)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民・学生500円) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

11/19 (日) **ピースビレッジ第57回**
写真と旅を通して感じたこと
そして、野外映画館プロジェクト
「CINEMA CARAVAN」で目指す未来のプロデュース
 講師：志津野 雷(写真家)

旅をしながら、仲間と生きていく術をシェアすることで、人間力を上げる。そうすれば、芯を曲げず、どんな環境下でも対応できるのではないか。そんな思いから逗子海岸ではじめた「CINEMA CARAVAN」プロジェクト。このプロジェクトやスクリーンが切り拓く未来の可能性について考えていきます。(主催:NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム、共催:日比谷図書文化館)



■日時:11月19日(日)14:00~16:30(13:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:3000円

11/22 (水) **江戸歴史講座 第47回**
将棋「大橋家文書」の解説
 講師：増川 宏一(遊戯史学会会長)

碁家のことも述べられている将棋家に伝わる「大橋家文書」の解説を中心に説明します。内容として御城対局の実際と存続した理由。名人の決め方、碁家と将棋家の関係、賭将棋の禁止など、将棋家の当主でない知りえない事実を通して江戸時代後半期のこれまで知られていなかった実状を明らかにします。



■日時:11月22日(水)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名
 ■参加費:1000円(千代田区民500円)

駒なし詰将棋(作者不詳、江戸時代後期) 国立国会図書館蔵

11/24 (金) **千代田区民講座**
西郷隆盛に学ぶ敬天愛人
 講師：内 弘志(「西郷隆盛に学ぶ敬天愛人フォーラム21」代表世話役)

西郷隆盛が菊池源吾と名を変え暮らした奄美大島での島民とのふれあい、明治維新前後の難しい局面での心構え、徳富蘆花や犬養毅からの評価の変化など、さまざまなエピソードを交えて解説します。(主催:NPO法人神田雑学大学 共催:日比谷図書文化館)

■日時:11月24日(金)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:無料
 ※10月5日(木)から千代田区民受付開始。区民以外は10月12日(木)から受付開始。

古文書塾
 古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んで頂ける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開講します。

◆古文書の魅力に出会う【入門コース】
 筆字のくずし字を初歩から学べます。

◆古文書から見えてくる多様な世界に感動する【本科コース】
 くずし字の史料を読み解いて歴史の真実に迫ります。

◆歴史の躍動を感じる【特別講座】
 江戸時代の多様な姿・史料を用いて、歴史の具体像を楽しみます。

	講座名	曜日・時間	開講日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30~	10/9
		(火) 10:30~	10/10
		(火) 13:30~	10/10
		(木) 13:30~	10/5
		(金) 13:30~	10/13
		(金) 18:30~	10/6
	いろはの次 一 大江戸大変	(月) 18:30~	10/2
	いろはの次 一 江戸時代の海外知識	(金) 10:30~	10/6
本科コース 120分	文人画と碑文 一掛軸を読む	(月) 18:30~	10/2
	江戸のコミック(黄表紙)と滑稽本を読む	(金) 18:30~	10/13
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(土) 13:30~	10/7
	翻字者育成講座[協力・大阪観光大学] 国文学研究資料館蔵『源氏物語 若紫』を読む	(土) 14:30~	11/4
特別講座 90分	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火) 13:30~	10/3
	大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00~	10/3
	浮世絵を読む【紅色クラス】	(水) 10:30~	10/4
	浮世絵を読む【藍色クラス】	(水) 10:30~	10/11
	江戸美人を探る—江戸のファッション事情	(水) 13:30~	10/11
	豪商 三井の最高意思決定—「大元方」の史料を読む	(水) 19:00~	10/11
	江戸を楽しむ 一続・江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30~	10/12
絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30~	10/7	

■期間:10月2日(月)~順次開講 ■会場:4階 セミナールーム(会議室)
 ■定員:23名(申込順) ■参加費:【入門コース】【本科コース】各33,600円(全10回/各回120分/6ヶ月分。別途資料代1,000円)【本科コース 翻字者育成講座】16,800円(全5回/各回120分/5ヶ月分。別途資料代500円)【特別講座】13,650円(全5回/各回90分/3ヶ月分。別途資料代500円)

※【翻字者育成講座】には別途テキスト、国文学資料館蔵『源氏物語 若紫』(税込1,512円 2016年 新泉社)が必要です。当館でのご用意も承ります。※てらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。

特別研究室 企画展示

内田嘉吉文庫所蔵資料に見る
後藤新平と都市計画
—科学的都市経営の展開—

10月17日(火)~12月28日(木)

今年の後藤新平が会長、内田嘉吉が副会長を務めた「都市研究会」の発足から100年にあたります。本企画では都市研究会発行の『都市公論』をはじめ、内田嘉吉文庫所蔵資料の中から後藤新平と都市計画関連の資料を紹介いたします。



『都市公論』(都市研究会/1919年)

ポモ—又広報室より

千代田区の「千代田」という名前は江戸城の別名「千代田城」にちなんでつけられました。太田道灌が江戸城を築城し、徳川家によって発展した江戸(東京)は、今もなお日本の政治・経済・文化の中心的な役割を果たしています。日比谷図書文化館では、江戸城の築城や江戸図屏風(複製)などを展示する常設展示室や太田道灌や江戸関連の蔵書など地域ならではの情報も充実しています。開催中の「松江城と江戸城—国宝になった城と天下人の城」とあわせて江戸への関心を深めてはいかがでしょうか。